

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わから ない | ご意見 |
|------------------|----|---|----|---------------|-----|-----------|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 22 | 4 | 1 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・教室が狭い。広いスペースも上手く使えていないと思う。 ・各教室内が少し狭い。 ・狭い場所だと難しい場合もある。 ・部屋がいくつもあり、それぞれのスペースも広い。 |
| | 2 | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 24 | 3 | 1 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ専門のあおぞら在中スタッフがいない為、リハビリの回数が少なすぎる。 ・STによる訓練などがまめにあったらもっと嬉しい。 ・職員の数が多く、目を離さず見てくれる。 ・少ない=先生達が大変そうな時がある。 |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境*1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等の配慮が適切になされているか | 26 | 0 | 1 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・構造化はされているが広いスペースで自由遊びはもったいないと思う。もう少し集団行動、日々の繰り返し(サーキット遊び・リズム遊び)など取り入れて欲しい。 ・言葉で伝わらない時は、視覚などからもわかりやすく対応してくれる。 ・子供に合わせて分かりやすいように表示したり、改善してくれる。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか | 27 | 0 | 1 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・まめに掃除消毒している。 ・子どもたちが活動しやすいように配置を変えてくれる。 |
| 適切な 支援の 提供 | 5 | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2作成されているか | 25 | 1 | 1 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的にモニタリングが行われている。 ・面談で保護者の要望を聞いて計画を作成してくれる。 |
| | 6 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 25 | 1 | 0 | 2 | |
| | 7 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 27 | 0 | 0 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・支援計画に沿って、子供に合わせて支援が行われている。 |
| | 8 | 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか | 24 | 1 | 1 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動の時間が短すぎる。 ・色々なプログラムが用意されている。 ・季節の行事や子どもに合わせた活動があり子どもも楽しんでいる。 ・活動プログラムが多く、いろんな経験ができる。 |
| | 9 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 15 | 8 | 0 | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナで行えないため。 ・交流保育や幼稚園も併用する為に協力してくれている。 ・コロナの為、交流しづらいので仕方ないと思う。 ・希望すれば交流できるので良い。 |
| 保 障 | 10 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 27 | 0 | 0 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・わからない事があれば丁寧に説明してくれる。 |
| | 11 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか | 25 | 1 | 0 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・悩みがあると、色々アドバイスしてもらえる。 ・ねらいという点では、説明があったかわからない。 |
| | 12 | 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか | 24 | 2 | 0 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・具体的にアドバイスしてもらえる。 ・勉強会は今後もぜひ続けてほしい。今年も学びの1年だった。 |
| | 13 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか | 27 | 1 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や電話などでまめに連絡が取れている。 ・子どもの様子を連絡帳や電話などで伝えてくれる。 |
| | 14 | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 27 | 1 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的にモニタリングが行われている。 ・日ごろから保護者のことを気にかけてくれ声をかけてくれるので助かっている。 |

| | | | | | | | |
|----------|----|---|----|---------------|-----|-------|--|
| 保護者への説明等 | 15 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 22 | 6 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナで行えないため。 ・定期的に保護者会やイベントが行われている。 ・コロナ禍の為、不十分だったと思う。(やむを得ないと思う) ・まだわかりかねる。 |
| | 16 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 26 | 1 | 0 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に相談や申込みがしやすい雰囲気がある。 ・悩みがあると色々アドバイスしてもらえらる。 ・相談するとすぐに対応したりアドバイスをくれる。 ・先生が多忙である為、「迅速」は難しいと思う。相談すれば適切には対処してくれたと感じている。 |
| | 17 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 27 | 1 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や電話などでもまめに連絡をくれる。 |
| | 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 22 | 1 | 0 | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的にいただく会報などにもわかりやすく書かれている。 |
| | 19 | 個人情報の取扱いに十分注意されているか | 27 | 1 | 0 | 0 | |
| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 |
| 非常時等の対応 | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか | 25 | 1 | 1 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・ぞう組の時から、保護者と訓練が行われている。 ・防犯マニュアルはわからない。 ※無回答1 |
| | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 28 | 0 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・ぞう組の時から、保護者と訓練が行われている。 |
| 満足度 | 22 | 子どもは通所を楽しみにしているか | 25 | 2 | 0 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・行き渋りすることなく楽しく通っている。 ・いつも楽しみに朝出かけていき、その日の事も色々話してくれる。 ・毎日楽しみに通っている。 ・毎日楽しそうにバスに乗っている。親子通園の1年で親子共々安心感を得られた事も大きいと思う。 ・毎回楽しみに通園している。先生方に感謝している。 ・毎日楽しく通っている。 ・行きはしぶるが帰りもしぶる。 |
| | 23 | 事業所の支援に満足しているか | 25 | 3 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・子供、保護者によりそって支援してもらっている。 ・あおぞらキッズに入園して親子共に本当に良かった。 ・多肢にわたる不安がある中1つずつ向き合ってくれる先生方に感謝している。 ・働く父母にも対応して療育時間を夕方までにして欲しい。 ・子供のことをよく考えてくれるので満足している。 ・先生方の努力が伝わる。 |

(注釈)

*1「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達管理責任者が作成します。

*3「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目標を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。